

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第2回飯塚市公立保育所・こども園あり方検討委員会
開催日時	令和4年12月27日（火）午前10時00分～午前11時17分
開催場所	飯塚市役所1階 多目的ホール
出席委員	皆川晶 委員長・山本佳子 委員・森山紹人 委員・麻生恵子 委員 小西敦子 委員
欠席委員	福間一志 委員・武田祐子 委員・久保山眞市 委員
事務局職員	長尾恵美子 福祉部次長・日高政徳 保育課長・田辺妙子 主幹補 瓜生知世理 保育・こども園係長
会議内容	<p>(委員長)</p> <p>「(仮称) 楽市・平恒統合保育所の名称選定について」を議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。</p> <p>(事務局)</p> <p>「(仮称) 楽市・平恒統合保育所の名称選定について」ご説明させていただきます。10月11日から11月21日まで名称を公募し、交流センターなどに設置した応募箱による応募、また、インターネットにより、多数の応募がございました。公募するにあたって注意事項の一つとして、「公立保育所は子育て支援のための拠点施設でもあること、公立保育所として、また、地域にふさわしい名称をお寄せいただきたい」としておりました。本日、本委員会において、応募のあった名称の中から、委員の皆様候補名称を5つ選定していただきたいと考えております。今後のスケジュールとしましては、地元自治会と協議のうえ本日選定した名称の中から、本年度末までに名称を決定していきたいと考えております。以上、簡単ですが説明を終わります。</p> <p>(委員)</p> <p>今の建設予定地の字は南尾になるのですか。それとも平恒になるのですか。</p> <p>(事務局)</p> <p>平恒でございます。</p> <p>(委員長)</p> <p>名称選定にあたって、各委員の皆さま3つ以内で候補名称を選定していただき、お一人ずつ候補名称そしてその名称を選んでいただいた理由というのを説明していただきたいと思っています。ちなみに、現在、漢字で「穂波幼稚園」というのがございます。そういったところも皆さま加味していただけたらと思います。では、3つ以内で候補名称と理由を考えていただけたらと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>(委員)</p> <p>平恒この近辺に私立の保育園とか幼稚園はないのですか。</p>

(委員)

近くでいうと、常葉保育園、穂波幼稚園です。

穂波保育所という名前に仮に選定されるとすれば、穂波保育所と穂波幼稚園が存在する形になります。

(委員長)

では、名称選定にすすみたいと思います。名称とその他理由をよろしく願います。

(委員)

名称を決定する時というのは、説明ができる具体的な根拠が必要になってくるだろうなという風に思います。民間の施設であれば、ある程度自由に名称を選定できるんですが、今回の場合は公立保育所ということですので、その根拠というところからお話をさせていただくと、結果的には私は二つ、「穂波東」と「平恒保育所」という名前です。この二つを挙げさせていただきたいと思います。具体的な理由としては、ご想像つくかと思うのですが、「穂波東」の方で言いますと、現に今小中一貫校として同じ校区内に建っているのです、そういう意味では、穂波東保育所から穂波東小学校にあがられるということで、遺憾なく進級できるのではないかと。で、もう一つ「平恒保育所」という名称なんですけども、土地の名称が平恒ということであれば、現に今平恒保育所が存在するわけなんですけどもそういった意味でも地域の方の馴染む名称になるのかなという風に思います。ただ、楽市平恒が統合ということですので、今まで楽市保育所に通われていた保護者の方、もしくは、楽市の地域の方がどういう風に感じられるかというのはちょっと気になるころではありますけれども、ただ、立地の場所が平恒という名称ですのでそういう意味では皆さま納得をしていただけるのかなという風に思います。繰り返します。「穂波東保育所」と「平恒保育所」という名称でどうかと思います。

(委員)

「穂波」という名前を残した方がいいのかなと思いました。ひらがなの方がわかりやすいので「ほなみ」。次に、「ほなみ未来」という名前がいいのではないかと。思いました。

「未来」という理由は、保護者の方の子どもさんに対するすごく愛情を感じるころがありまして、この二つを選ばせていただきました。

(委員)

私は「なごみ」です。親も気持ちになごむかな、なごむような保育園にしてほしいなと思って。それと、地名の名前であるので「平恒」です。

(委員)

まず候補の条件が公立であるということと統合の保育園であること、地域にふさわしいという点で2点選びました。一つは漢字の「穂波東」です。この地域名でどこにあるということがわかるというのが一番の要素。あともう1点は「らくひらのやま」という名前なのですがこの理由としてはまさに選定された理由のところの楽市と平恒の統合で名前を残したいということと、皆が駆け上がっていくというイメージということ、あと「ぼた山」とかそういう思いが皆さんの中にあるのかなという意味でこの「らくひらのやま」というところも一つ候補に残していただけたらと思っています。

(委員長)

各委員の皆さまからご意見いただきました。この地域・地区の名前を入れる、土地の名前になるとやはり皆さまがわかりやすいということ、そして今、幼保小中連携という中で、小学校が校区内にあるそしてその子ども達がそこから地区の穂波東小学校にあがるということからも考えまして、やはり「ほなみ」という名前は私も残したほうがいいなと思っております。今皆さま方にだしていただきましたものは、まず「穂波東」「平恒」そしてほなみというのが平仮名の「ほなみ」「ほなみみらい」そして「なごみ」そして「らくひらのやま」という名ができました。今回5つ選定ということですが今あがりましてのが6ですからこの中から5つに絞りたいと思います。まずは「穂波東」というのは皆さまご意見多かったのでこれは残したいと思います。

(委員)

これは漢字のほうということですか。

(委員長)

漢字です。そしてあとは「平恒」も地区のお名前が入っているということでこれも残せたらと思います。「平恒」で2つめ。あと3つですけれどもどういたしましょうか。

(事務局)

皆さまご意見いただきましたので、5つという形で考えておりましたけどこの6つを委員の皆さんから選考されたということで考えても事務局としてはいいかなと思っております。

(委員長)

皆さまにあげていただきました6つを候補として選定したいと思います。皆さまご異議などございませんでしょうか。

(事務局)

「ほなみみらい」でだしていただきましたが、ひらがなのほなみ、漢字の未来どちらの方で選定をさせていただいたらよろしいかお尋ねします。

(委員長)

「ほなみみらい」のほなみがひらがなで未来が漢字、そして穂波が漢字でみらいがひらがなの2種類です。皆さまいかがでしょうか。

(委員)

ほなみとしても、穂波の漢字というのは漢字で書くと結構な画数になるので、ひらがなの方が多分親しみやすいのだろうと思うので、どちらかといえば未来をひらがなにするよりもほなみをひらがなにした方が、園名としてはしっくりくるのかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

(委員)

そういう考えでさせていただきました。

(委員長)

では「ほなみ未来」はほなみをひらがなで未来を漢字の方でお願いいたします。他事務局よろしいでしょうか。

では、ご意見がないようであれば次にすすみたいと思います。「子育て支援センターについて」事務局から報告の説明をお願いいたします。

(事務局)

「子育て支援センターについて」ご説明いたします。令和2年度の緊急事態宣言解除後から人数制限を行ったうえ運営しておりましたが、令和3年度の11月から人数制限は撤廃しております。予約制は継続したまま、各施設において密にならないよう留意して運営を行っているところがございますことから、令和3年度の利用者数につきましては、令和2年度と比較して微増にとどまっております、コロナ禍前の利用人数にはいたっておりません。今後は、予約制の撤廃について、コロナ感染状況を鑑みながら各支援センターの意見もふまえて撤廃時期を検討してまいります。アンケート調査につきましては、昨年度の本委員会において子育て支援センター未利用者の意見も聴取すべきとのご意見を賜りましたことから、子育て支援課に協力を仰ぎ、『赤ちゃんすくすく元気訪問』時に調査していただけるよう依頼しているところがございます。調査結果につきましては、次回開催の委員会において資料配布をさせていただきます。

(委員長)

事務局からの説明が終わりましたが、ご質問ご意見等はございませんか。

(委員)

基本的にはこの公立あり方検討委員会で支援センターの状況というのを把握するのはどうしても利用者の数でしか判断ができないというのは重々分かったうえでなんですが、この感染状況というのは地域性がありますので、その状況に合わせた対応という

のが必要になってくると思います。そう考えてくるとこれから先支援センターの利用状況とかいかに支援センターが社会貢献していくのか、ということを保育課で考えた時に、数だけでの判断というのはちょっと難しくなってくるかなと思います。例えば地域的に、ここの地域だけは人数をちょっと制限しなきゃいけないとかいうようなことができた時に、支援センターの運営をされている方の方としては、報告をしなければならないとなると数をださなければいけないという根本の意識が働くので、それだけではない判断基準というのが必要になってくるのかなと思います。支援センターがいかに飯塚市市民にとって貢献できているのか、その判断基準を数だけではないところでの判断基準というのを今後考えていくべきという風に思います。コロナに限らずその他の感染症も今後また新たなものがでてくる可能性もでてきます。そういうところを考えても支援センターが活動している判断基準が数だけというのは今の状況には即さないかなという風に思いますので、今後検討をしていただけたらという風に思います。

(委員長)

支援センターの社会貢献の判断基準というのを、私もあらためて考えないといけないなという風に思います。数だけでは判断できない、ではその判断基準をどこに焦点を置くのか。一般の方にはこの支援センターでは何人の方が見えていますよ、と言われても、数はたくさん来ているな、でもどんなことをしているのだろう、と実際に体験してみないとその支援センターでどんなことが行われているのかとかがわかりませんので、子育てをされているお母さん方に、一度も利用されていない方々にわかっていただく、そしてまた一般の方にもこういった所が市にはありますよというのをわかっていただくために、なにかお示しできるものがあればいいなと思います。

(委員)

子育てをしているお母さんが、子育て支援センターがあることすら知らないという方が多いです。どういう風にそういう方たちにお知らせするかというところがすごく大事かなとは思っています。1時間でも2時間でもみてほしいという人は結構いらっしゃるみたいなので、市報とかに載せるのも一つの手かもしれないけど、市報を見ていない若い人たちが結構多いので、その知らせ方を考えていただけたらありがたいかなと思います。

(委員長)

市報を若い人は見ていないので、もっと簡単に若い人たちが敷居を感じないように、気軽に情報が得られるような方法というのを少し考えていかないといけないなという風に思いました。

(委員)

赤ちゃんの健診とか、そういうのと連携できるといいなと思いました。

(委員)

スマホでも飯塚の市報はあるのですが、次から次に開いていかななくてはいけないから、わかりづらい。こういうパンフレットだったら見やすいと思うのですが、市役所などに行かないともらえない。

(委員)

子育て世代の方々に、変わってくださいというのは無理なのですよね。支援センターに限って言うと、今一生懸命例えばパンフレットとかインターネットとかをとおしてちょっと宣伝をしてもなかなか一番聞こえてほしいところには聞こえない、届かないです。だからそうなってくると何が必要かという、こちら側が、連携ができるかどうかの問題になってくるだろうということです。どこか接点を見つけてそこから広げていくというそういう発想っていうのが多分必要になってくるのだろうなという風に思います。なので、支援センターを知っていただくためにはやはり他の機関との連携、それから支援センターの方も来るものは拒まないけども自分からは出て行かないではなくて、もちろん出て行ってある支援センターもたくさん活動してありますけども、市に属する機関の方の側がやはり連携をとってそして情報を密に切り開いていく、という方法というのが多分今から必要になってくるのかなという風に思います。

(委員)

支援センターの方にいくらパンフレットがあっても、行かなければそれを見ることはないので、それを見てもらうということが一番大事だと思うので、例えば支援センターの何かイベントがあるとかそういうので、あっちゃっと行ってみようかみたいな形のをいろいろ作っていくとまた違ってくるかなと思います。

(事務局)

市の現状というところでお話しさせていただきたいと思うのですが、先ほど見せてくださった子育てガイドブックは、母子手帳の交付時に保健師からまずお渡しします。妊娠3ヶ月4ヶ月の方がまず見ていただいて、簡単な説明はするのですが、実際に子育て支援センターのことまではちょっとわかっただけでないと思います。そして、次に産まれてから4ヶ月までに赤ちゃんすくすく全戸訪問といいまして、各家庭に4ヶ月の訪問をいたします。4月以降本市もきめ細やかな相談体制をつくってまいりますので、もっと重層的なことができるかと思っております。また、周知が一番難しい。これも本当わかっているのですが、なかなか興味はその時にはない。その後困ってからどうしようという方がいらっしゃるので、前もってお知らせはしていかないといけないと思うのですが、ホームページとかも見やすくしようという検討をしております。あとLINE、SNS、インスタグラムとかも市もありますので、そちらに入っただけのようにまずそれをお知らせするものをいろんな所にだしていかないといけないとは思っております。

(委員)

アンケートみたいなのを作ってもいいかもしれないです。

(事務局)

そうですね。乳幼児の健診についても今コロナ禍になってしまって、3歳児健診はもちろん集団があるのですが、0歳の分は病院の先生が診ていただくようになっております。そういったところで細やかな周知ができていないというのが現状かと思っておりますので、各個人から相談を受ける時に丁寧にパンフレットも作成しお渡しするとともに、感想、アンケートも持っているような意見を集約していきたいなどは考えております。

(委員長)

では、次に(仮称)楽市・平恒統合保育所工事の進捗状況について事務局からご報告をお願いいたします。

(事務局)

楽市・平恒統合保育所の工事進捗状況についてご説明させていただきます。統合保育所の配置図、1階平面図、2階の平面図となっております。まず1枚目の配置図のほうをご覧くださいと思います。統合保育所の建設地につきましては前回の委員会で視察を行わせていただきました。配置図の左側、こちらが道路入って左側になるのですが、一段下がっております。こちら一段下がっている所と道路から入った所の1階部分で、合わせて2階建てという形になります。続きまして道路から入った部分につきましては1階建てになります。道路入ったところが駐車場という形になります。参考ではございますが、建物の右側は都市公園で、平恒野間公園になります。こちらは保育所敷ではございません。都市公園になります。次にすすみます。1階につきましては、調理室と遊戯室を設置する予定といたしております。2階平面図の左側、こちらが1階の平面図にあります2階部分になります。この2階部分につきましては、玄関から入った事務室、一時預かり室、屋外遊技場みたいな形で設置することといたしております。道路から入った1階部分の建物につきましては、保育室になります。保育室の真ん中は空間にしておりまして、園庭を置くようにいたしております。次に工事の進捗状況についてご説明いたします。現在、園舎建設工事に着手しております。園舎は令和5年9月末までに完成予定です。また、令和6年3月末までには外構工事、外柵工事、駐車場の舗装工事が終了する予定でございます。令和6年4月開所予定で工事の方を進めております。

(委員)

構造の面というのはもうあれですけど、世界ではこの保育園に関わる事故とか事件をふまえて、様々な安全基準とか登園管理の新たな通知というのがだいぶなされているかなと思いますので、今後の職員の配置や玄関での対応とかその配慮すべき運用面で、また、今後什器の配置であるとかそういう工夫というのが必要になってくるかなと思

	<p>われますが、安全基準より高く求められてくると思いますので、その点を反映した施設整備をお願いできればと思います。</p> <p>(委員長)</p> <p>よろしく申し上げます。これをもちまして、令和4年度第2回飯塚市公立保育所・こども園あり方委検討委員会を終了いたします。</p>
公開・非公開の別	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 公開      2 一部公開      3 非公開</p> <p>(傍聴者なし)</p>
<p>そ の 他</p> <p>(非公開理由等)</p>	